

村屋神社秋祭りの日程変更について

令和5年より、村屋神社の伝統神事を絶やさず維持していくため、秋祭りの日程を10月9日（宵宮）・10日（本宮）から10月第3週目の土曜日を宵宮、翌日の日曜日を本宮とすることにいたしました。

本来、秋祭りこそが最も盛大に行なわれ、秋の実りをより多くの人々と喜びを分かち合い、神様に感謝を捧げることこそがそもそもの目的です。近年は少子高齢化に伴い、人口も減り昔のように、各大字で神輿や地車を渡御することも露店が軒を並べて出店することも無くなり、また10月10日が、体育の日となっていた頃までは、少なからず賑わいはありましたが、祝日が移動した頃から、徐々に秋祭りに訪れる人は減り、一時期20人程度まで落ち込みました。こういった状況を打開するために約10年程前から、有志を集めて、みたらし団子や蔵堂子供会にも協力していただき、おもちゃのお店など自主的に出店し、また地元小学校にも協力頂き、ここ数年はお祭りらしい賑わいが戻ってきております。令和3年、令和4年は曜日の巡りが良くお祭りらしい賑わいがありました。しかし曜日の巡りが悪く平日の祭りになると、やはり寂しい祭りとなってしまいます。

現在のサラリーマン社会に於いては、平日に勤務している兼業農家が多く、土日に秋祭りを変更することは今の社会構造から考えて当然の流れともいえることなのですが、二年前に前宮司（守屋廣尚）が引退したことで、二手に分かれて祭主が行なえなくなり、一人で十七社全ての秋祭りを回らなければならないことや、兼務社が増えたことで、今までの10月9（宵宮）・10日（本宮）の日程では無理が生じ始め対処しきれなくなったことや、平日の祭りになった場合、学生の巫女が中間テスト期間中に学校を欠席しなければならないこと、祭りを一緒に盛り上げてくれる露店業者・キッチンカー・奉納演奏者などきてくれなくなり、賑わいが減り寂しい祭りになってしまうことなどの理由で、千年以上続いて来た秋祭りの伝統神事を今後も変わらず維持していくために第3週目の土曜日を宵宮とし、翌日を本宮とすることにいたしました。

何卒ご理解の程どうかよろしくお願い申し上げます。